

令和2年度 事業報告書

自 令和 2 年 4 月 1 日
至 令和 3 年 3 月 31 日



理 念

人々の健やかで自立した生活へ向けての支援

方 針

高齢者も障がい者も安心して暮らせる豊丘村づくり

2020

社会福祉法人 豊丘村社会福祉協議会

事業報告

1 活動の概要

本年度は、新型コロナウイルスの感染拡大に大きな影響を受け、多くの事業が延期又は中止を余儀なくされ、感染対策も手探り状態の中での活動でありました。

各事業においてはその活動に制約を求められる中で、高齢の皆様や障がいを持っている方々が、住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、在宅介護支援体制の充実や、住民の皆様の日常生活における困りごとに寄り添う支援体制の整備など、より充実した福祉サービスの提供を目指し活動しました。

また、長引く新型コロナウイルスの感染流行の影響を受けて職を失うなどした生活困窮者の方々への支援を行いました。

2 重点事項

- (1) 高齢者・障がい者等の生活支援・生きがい対策の充実
- (2) 社会的弱者の支援
- (3) 介護サービスの充実
- (4) 介護予防対策の充実
- (5) ボランティアの育成と活動の推進
- (6) 結婚相談事業の充実
- (7) 福祉事業の普及啓発

3 活動内容

- (1) 高齢者・障がい者等への生活支援・生きがい対策の充実

- ・「豊丘おてこ隊」による独居高齢者・高齢者世帯の日常生活支援

142回の利用がありました。

- ・認知症地域支援推進員による認知症の正しい知識の普及啓発、相談・支援

- ・認知症カフェの開催

温かサロン:29名、よりみちカフェ:10名、ケアラズカフェ:18名の方が利用しました。

- ・ヘルパー訪問による一人暮らし高齢者の安否確認(ヤクルト配布サービス)

- ・福祉タクシー利用者証の発行と運営管理

年度末現在の福祉タクシー証登録者は1,133名(内妊産婦7名)、全体の利用件数は12,171回でした。

北部タクシーへの支払額は、18,909千円余となりました。

- ・高齢者・障がい者の「希望の旅」事業

新型コロナウイルス感染防止対策により中止しました。代わりに身体障がい者福祉協会主催の村との懇談会におけるお弁当配布や、一人暮らし高齢者を対象に12月29日中学生のメッセージ付き「おとしとりランチ」を配りました。

- ・高齢者・障がい者等が組織する団体への協力及び支援

- ・高齢者ふれあい地域サロン(8地域)の運営支援

91回のサロンが開催され、延べ1,639名が参加しました。

また、11月20日、サロン情報交換会を行いました。

- ・「車いす対応軽自動車」の貸出

利用登録者に対し、1回300円で105回貸出を行いました。

- ・配食サービスの実施

1,093食の利用がありました。

- ・高齢者スポーツ大会(マレットゴルフ大会等)
新型コロナウイルス感染防止対策により中止しました。

(2) 社会的弱者の支援

- ・くらしの相談の実施(民生児童委員・行政相談員連携)
毎月第4日曜日(原則)に、はつらつにおいて開催しました。
- ・豊丘村独自の小口資金(くらしの資金・医療貸付金)の取り組み
くらしの資金新規利用者は5名、331千円で、期末貸付残高は1,026千円となっています。
- ・生活福祉資金の活用などによる生活困窮者支援
- ・日常生活自立支援事業の実施
基幹的社協や公的機関と連携した支援を2名の方に行いました。
- ・信州パーソナル・サポート事業(生活困窮家庭の子どもに対する学習・生活支援)
県の委託を受けて、教育委員会と連携して2名の生徒の支援をしました。
また、令和3年3月6日、健和会病院小児科の和田浩先生を招いて学習会を実施しました。
- ・まいさぼ出張所(生活困窮者自立支援事業・就労支援事業・家計相談等の支援)の相談窓口・支援業務

(3) 介護サービスの充実

- ・ケアマネジャーによる介護サービス計画の作成
4名のケアマネジャーにより959件のケアプランを作成し提供しました。
- ・ホームヘルパーによる訪問介護
年間延べ派遣回数9,522回でした。(訪問介護:8,416回、総合事業:1,106回)
- ・デイサービスセンター「ほほえみ」における通所介護
年間306日稼働し、年間延べ利用者数は7,892名でした。(通所介護:6,769名、総合事業:1,123名)
- ・はつらつクラブにおける予防通所介護
年間209日稼働し、年間延べ利用者数は3,650名でした。
- ・障がい者総合支援法によるホームヘルプ
年間延べ利用時間は618時間でした。
- ・介護者ふれあい相談(村・地域包括支援センターと連携)
新型コロナウイルス感染防止対策により中止しました。
- ・ケアマネジャーによる介護相談実施
- ・介護保険相談窓口の常設(地域包括支援センターと連携)
- ・在宅介護者のリフレッシュのための日帰り小旅行
新型コロナウイルス感染防止対策により中止しました。
- ・在宅要介護者等のおむつ代補助
申請者数185名で、支払額は3,714千円余でした。

(4) 介護予防対策の充実

- ・ミニデイサービス15地域(地域主催)への協力支援
81回の活動を支援し、延べ929名が参加しました。
- ・ふれあい交流の促進(「おいでなんしょ会」「高齢者昼食会」等への補助)
おいでなんしょ会は76回開催され、支払額は129千円余となりました。
高齢者昼食会は36回開催され、870千円余となりました。
- ・高齢者等見守りネットワーク模擬訓練の実施(認知症の理解と啓発を図るため声掛け訓練)
10月4日、河野区の協力によりスタッフ24名、住民57名の参加がありました。

(5) ボランティア育成と活動の推進

- ・ボランティアの育成・研修の実施
- ・ボランティアニーズの把握、情報発信
- ・ボランティアの活動援助(ボランティア保険、謝金等の補助)
- ・災害時の支援受け入れボランティアセンターの立上げ・運営訓練

災害発生時にボランティアセンターを迅速に立ち上げ、効率的な支援体制作りを目指し、第5回となる立ち上げ訓練を計画しましたが、コロナ禍のため従来の多人数での訓練は見合わせました。

代わりに8月28日、令和元年台風19号豪雨災害によるボランティアセンターへの職員派遣の経験を踏まえ、防災に関する職員研修会を実施しました。

- ・「災害福祉カンタンマップ」実証実験及び「災害時住民支え合いマップづくり」の説明会の実施(行政・地域との共同)
- ・ボランティア登録数 個人:92名、グループ:12団体

(6) 結婚相談事業の充実

- ・村内の結婚希望者に関する情報収集及び「愛ねっと北部」と連携してのカップリング支援。
- ・「愛ねっと北部」の元気づくり支援金を活用したイベント・交流会への参画。
- ・近隣市町村との情報交換及び交流の会(天竜縁結びの会)事業は、今年度当初に終了となりました。

(7) 福祉事業の普及啓発

- ・社協報(年4回)の発行
- ・福祉啓発イベントの開催

福祉まつりは、毎年11月に開催していましたが、新型コロナウイルス感染防止対策により中止しました。

健康と福祉のつどいは、コロナ禍のため昨年に続きイベントは中止とし、ケーブルテレビにて健康講座及び「災害時住民支え合いマップ作り」の取り組みについて放映しました。

- ・福祉のニーズ調査・検討
- ・赤い羽根共同募金の実施(10月から 募金額1,786千円)

(8) 新型コロナウイルス感染症による支援活動

- ・布マスク作り(4月～6月)

新型コロナウイルス感染症の拡大によるマスク不足を解消するため、ボランティアに布マスク作りを依頼したところ、たくさんの布マスクが集まり、村内の福祉施設に届けました。

- ・シトラスリボンプロジェクト(豊丘村教育委員会と合同)に参画

コロナ禍での差別や偏見による弊害を防ぎ思いやりのある地域づくりを目指すため、ボランティアによるシトラスリボン作りを行いました。

- ・フードドライブ(困窮世帯への食糧支援)

年4回実施したところ、お米ほか多くの食糧が集まり、困窮世帯への支援ができました。

- ・緊急小口資金特例貸付(長野県社会福祉協議会)の窓口相談

コロナ禍の影響で、休業等により収入の減収があり、緊急かつ一時的な生計維持が困難となっている世帯への貸付相談窓口を開設し支援を行いました。

会議・行事

月 日	事 項	内 容
令和2年5月28日	監査	・令和元年度事業・決算監査
6月8日	理事会	・令和元年度事業・決算報告 ・評議員の招集
6月22日	評議員会	・令和元年度事業・決算報告
11月19日	中間監査	・令和2年度上半期事業・中間決算監査
12月8日	会長・事務局長会議	・北部5町村社協 於 喬木村
12月14日	理事会	・令和2年度上半期事業・中間決算報告 ・労働組合からの要求に対する回答等 ・評議員の推薦 ・第1次補正予算
令和3年3月16日	理事会	・令和3年度事業計画・予算 ・給与規則の改正 ・評議員の招集
3月29日	評議員会	・令和3年度事業計画・予算

< 関連団体構成 >

豊丘村高齢者クラブ連合会 772名

豊丘村身体障害者福祉協会 72名